

第62回中部・第52回北陸実業団対抗駅伝競走大会

兼 第67回全日本実業団対抗駅伝競走大会予選会要項

主 催	中部実業団陸上競技連盟	北陸実業団陸上競技連盟
共 催	田 原 市 中 日 新 聞 社	田 原 市 教 育 委 員 会 毎 日 新 聞 社
後 援	東 海 陸 上 競 技 協 会 C B C テ レ ビ	田 原 市 地 域 コ ミ ュ ニ テ ィ 連 合 会
運 営 協 力	(一財) 愛 知 陸 上 競 技 協 会 田 原 市 陸 上 競 技 協 会	東 三 河 陸 上 競 技 協 会 田 原 市 ス ポ ー ツ 協 会
協 力	デ サ ン ト ジ ャ パ ン 株 式 会 社 田 原 市 商 工 会	渥 美 商 工 会
特 別 協 賛	株 式 会 社 渥 美 モ ー タ ー ス イ チ ホ ル テ ィ ン グ ス 株 式 会 社	愛 知 海 運 産 業 株 式 会 社

【注意】 新型コロナウイルスの影響で、競技運営および安全確保に支障をきたすと判断される場合は大会の中止や開催概要の変更を実施します。その際は中部・北陸連盟 HP 等を通じて告知します。

1. 期 日 2022年11月13日(日) 9時00分スタート

2. コース はなとき通り発着(7区間 80.5km)

3. 区 間

第1区	はなとき通り・・・白谷海浜公園	(12.0km)
第2区	白谷海浜公園・・・サンテパーク田原	(8.3km)
第3区	サンテパーク田原・・・旧伊良湖岬小学校	(12.2km)
第4区	旧伊良湖岬小学校・・・旧伊良湖岬小学校	(15.5km)
第5区	旧伊良湖岬小学校・・・サンテパーク田原	(12.2km)
第6区	サンテパーク田原・・・白谷海浜公園	(8.5km)
第7区	白谷海浜公園・・・はなとき通り	(11.8km)

4. 参加資格 (1) 2022年度日本実業団陸上競技連合に「企業チーム」または「クラブチーム」として登録され、さらに「企業チーム」に関しては当該企業と直接的な労働契約関係(*)にある監督ならびに男子競技者により編成されたチームであること。但し、監督ならびに競技者は出場チームにおける10月14日(金)までの登録者に限る。

* 短期的な労働契約(例えば駅伝シーズンのみの契約)の者は除く

(2) 「企業チーム」に関して、本大会申込期限日前に移籍した競技者の取扱いは、連合登録規程第6条の定めに則る。

(3) 外国人競技者は、労働契約を締結し、地域連盟に登録申請した日以降、日本国内に滞在した日数が、初年度登録者と移籍者に於いては180暦日以上、次の年度からは120暦日以上が必要である。但し、今年度、学校教育法第1条に定める学校を卒業し、引き続き採用された外国人競技者については120暦日以上が必要となる。

※滞在日数確認のため、外国人資格審査書(ホームページよりダウンロード)及び証明できる資料を申込時に提出すること。

※オープン参加については「13. オープン参加」を参照。

5. チーム編成 (1) 加盟登録団体単位とする。ただし「企業チーム」に関して、2地域以上にわたり登録している団体も連結決算対象企業群内であれば、連合の承認を得て同一団体として出場することができる。(連合登録規程第3条2項)
- (2) チームは、監督1名・選手12名、計13名以内とする。
- (3) 外国人登録者は参加申込時より1名とし、出走区間は2区のみとする。
6. 競技規程 (1) 本大会は、2022年度日本陸上競技連盟規則及び駅伝競走基準、本大会規程により行なう。
- (2) 引継ぎはタスキを用いる。
- (3) 競技運営上、各中継所において先頭通過から10分にて繰り上げ出発を行う。
- (4) ユニフォームについて、「企業チーム」は別紙「ユニフォームに関する注意事項」の通りとし、「クラブチーム」は日本実業団陸上競技連合ホームページ記載の「ユニフォームの規則に関するQ&A」の通りとする。
7. 表彰 (1) 中部優勝チームに優勝旗(持回り)、1～3位チームに賞状及び副賞を授与する。
北陸優勝チームに優勝旗(持回り)、1～3位チームに賞状及び副賞を授与する。
- (2) 区間優勝者には区間賞を授与する。
- (3) 「企業チーム」の中部上位7チーム・北陸上位1チームに第67回全日本実業団対抗駅伝競走大会出場権の権利が与えられる。
- (4) 特別表彰：通算10回出場者を表彰する(参加申込み時に申請すること)
8. 申込方法 (1) WEB申請での手続きとなります。別紙の「申込み時の注意事項」を確認の上、入力をお願いします。エントリーに際しては、チーム番号・パスワードが必要です。
- 【中部連盟】 <https://m4.members-support.jp/JITA/Entries/add/58>**
【北陸連盟】 <https://m4.members-support.jp/JITA/Entries/add/60>
- ◆申込受付期間：9月19日(月)～10月14日(金)**
- ① 〒448-8651 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地
(株)豊田自動織機ウェルサポート イベント部内
中部実業団陸上競技連盟 事務局長 三浦 希代子
Tel：0566-55-4352 FAX：0566-27-5677
E-mail：madoka.tsukasaki@chubu-renmei.com
- ② 〒919-0477 福井県坂井市春江町田端2-29-1 株式会社 ユティック
北陸実業団陸上競技連盟 事務局長 岩腰 宏樹
Tel：0776-97-6690 FAX：0776-97-6691
E-mail：iwakoshi@mx6.fctv.ne.jp
- (2) 最終オーダーは、**11月12日(土)の10時00分～12時00分までに**、原則、システムより区間を入力し、下記該当連盟事務局長へ入力完了の旨、連絡をすること。
- 《連絡先》 中部連盟…三浦事務局長携帯：**080-3487-4919**
北陸連盟…岩腰事務局長携帯：**090-5170-5945**
- ※システムより申請が困難な場合は、大会本部(田原文化会館)へ持参又はFAXにて提出のこと。申請用紙は、ホームページよりダウンロードしてください。[**FAX：0531-22-6455**]

9. 参加料 1チームにつき大会参加料として、50,000円を申込み完了後、速やかに下記に記載する所属連盟の指定口座に振り込むこと。

【中部連盟振込先】三菱UFJ銀行 刈谷支店 普通 口座No.0581583
中部実業団陸上競技連盟 事務局長 三浦 希代子 (ミウラ キヨコ)

【北陸連盟振込先】福井銀行 さくら通り支店 普通 口座No.6176182
北陸実業団陸上競技連盟 事務局長 岩腰 宏樹 (イワコシ ヒロキ)

10. 監督会議 2022年11月12日(土) 14時00分 於：田原文化会館

※感染症対策のため、1チームにつき1名の出席とする。

※監督会議に出席しないチームは棄権とみなす。

11. 開・閉会式 ※感染症対策を考慮し、開会式、閉会式ともに実施検討中(別途案内)

12. その他
- (1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡、また、個人情報に十分配慮したうえで選手の健康管理に資するデータ・知見の集積等に利用する。
大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
大会の映像は、主催者の許可なく第三者がこれを使用すること(インターネット上において画像や動画を配信することを含む)を禁止する。
 - (2) ビブス(ナンバーカード)及びタスキは主催者側で準備する。
 - (3) 中部連盟以外の連盟に登録している選手は、他連盟の予選会に出場しない者に限り当大会に出場できる。
 - (4) 選手配置・収容について
実業団選手の配置・収容のためにバスを運行する。バスを利用しないチームは、チームの責任で選手を配置・収容すること。出場チームには、別途、バスの利用調査を行う。
 - (5) 随行車については、本部において調達したもの以外は認めない。
 - (6) 競技中に生じた事故については、救急医療のみ主催者側が行なうが、事後の責任は負わない。
 - (7) 宿泊の申込みは、各チームで実施する。
 - (8) その他詳細事項については、監督会議において打合せを行なう。
 - (9) 出場チームは、大会前1週間と大会当日朝の「体調管理チェックシート」の提出を必須とする。なお、大会終了後も1週間の健康観察を継続し「体調管理チェックシート」に記入する。万一、新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、担当保健所の指導に従うとともに、大会事務局に報告する。この際、大会事務局は個人情報の取り扱いに十分留意する。出場チーム以外の大会関係者は、同様の期間、体調管理チェックシートを記入のうえ、それぞれ所属団体の方針に応じ、紙ベースでの提出、あるいはGoogleフォームによる確認を受けること。
 - (10) その他、コロナ禍における大会運営および参加、従事の可否等については日本陸連が定める「ロードレース再開についてのガイダンス」に従う。

13. オープン参加

(1) 参加資格・チーム編成

- ・2022年度日本実業団陸上競技連合への登録を前提とし、中部・北陸実業団連盟に登録の競技者を対象に、企業チームから複数参加の場合の2チーム目以降、合同（混合）チーム（チーム登録、個人登録を問わず、中部・北陸実業団連盟登録者により構成されたチーム）が参加を希望する場合は、オープン参加として出場を認める。

但し、競技運営上、主催者判断にて参加チーム数に制限を行う場合がある。

※労働契約に関しては問わない。

- ・チームは、監督1名・選手12名、計13名以内とする。
- ・外国人登録者は参加申込時より1名とし、出走区間は2区のみとする。（滞在日数や労働契約については問わない）
- ・同一企業から複数チーム出場するケースで、1チーム目が正式参加する際の補欠選手は、オープン参加となる2チーム目以降のチームで出場することができる。

(2) (1) の他、以下を除き、上記「6」～「12」と同様とする。

- ・ユニフォーム（6-（4））については、別紙「ユニフォームに関する注意事項によらず、日本実業団陸上競技連合ホームページ記載の「ユニフォームの規則に関するQ&A」の通りとする。（国際大会向け・国内大会向け、いずれも可）。

但し、合同（混合）チームは主催者の指示に従う。

- ・表彰・記録等（7）に関し、チーム順位・記録はオープン扱い（表彰も対象外）とし、上位でゴールした場合でも第67回全日本実業団対抗駅伝競走大会出場の対象外とする。但し、区間記録は正式記録として認め、区間優勝者は表彰の対象とする。

以上

(別紙)

ユニフォームに関する注意事項

1. 原則として「国内大会」向け（下記）を着用すること。そのうえで「スポンサー」部分の表記については、同一企業グループ内の企業名やサービス名、商品名等に限定する。

日本陸連「競技場内における広告・展示物等の規則について」より引用

※囲み内に記載の面積（cm²）、高さ（cm）は最大値（当該数値以内であれば可）。

The diagram shows four pieces of athletic wear: two vests and two pairs of briefs. Each item has a rectangular label area. The top-left vest has labels for 'Sponsor' (スポンサー), 'Manufacturer' (製造会社), and 'Affiliated Organization' (所属団体). The top-right vest has a label for 'Affiliated Organization'. The bottom-left pair of briefs has labels for 'Manufacturer', 'Affiliated Organization', and 'Sponsor'. The bottom-right pair of briefs has a label for 'Affiliated Organization'. Three callout boxes provide rules: 1. 'Sponsor name/logo' (スポンサー名/ロゴ) rules: one per item, location doesn't matter, must be identical, max 40 cm² and 5 cm high. 2. 'Manufacturer name/logo' (製造会社名/ロゴ) rules: one per item, location doesn't matter, max 40 cm² and 5 cm high. 3. 'Affiliated organization name/logo' (所属団体名/ロゴ) rules: one per vest, one per pair of briefs, max 4 cm high for vests and 5 cm for briefs, length doesn't matter. A fourth callout box states that the names must be from the same corporate group.

スポンサー名/ロゴ
・上下1つずつ
・場所は問わない
・上下全く同一のものでなければならない
・40 cm²、高さ5 cm

製造会社名/ロゴ
・上下1つずつ
・場所は問わない
・40 cm²、高さ5 cm

所属団体名/ロゴ
・上衣は前後に1つずつ
・下衣は1つのみ
・上衣後ろは高さ4cm、他は5cm
それぞれ長さは問わない

同一企業グループ内の企業名やサービス名、

2. Q&A

	質問	回答
1.	「所属団体」部分に関して、企業・団体の日本陸連登録名/実業団登録名は漢字だが、ひらがな・カタカナやローマ字、さらには略称や「○○グループ」のような表記をしてもよいか。	「当該企業・団体である」と社会的に認識できる範囲であればよい。
2.	「ロゴ」と「企業・団体名」が一体となっているケースもあるが「所属団体」部分にそのまま表記してもよいか。	よい。
3.	「所属団体」部分について、企業・団体名ではなく、当該企業・団体のブランド名や商品名にしてもよいか。	NG。

4.	「スポンサー」部分を、「所属団体」部分と同じ表記にしてもよいか（企業名等）。	<p>NG。</p> <p>例えば「所属団体」部分を企業名等にした場合、「スポンサー」部分に企業ロゴを使用するなど、別な表記とするのはよい。</p> <p>（「所属団体」部分を「XX 社」とし、「スポンサー」部分を「XX サービス社」などとするのも問題ない。）</p>
5.	陸上競技チームそのものを会社組織化等したうえで、さらに支援いただいている企業・団体名を冒頭などにつけて日本陸連登録/実業団登録（企業チーム）したい（「〇〇社 XX クラブ」など）。この場合、「〇〇」を「所属団体」部分に表記してもよいか。	<p>NG。</p> <p>「1」のケースと異なり、「当該企業・団体である」と社会的に認識できる範囲にはあたらない。</p>
6.	スポーツメーカーや衣料品メーカー等がチームを保有している場合、「製造会社」部分と「所属団体」部分または「スポンサー」部分を同じ表記にしてもよいか。	<p>NG。</p>
7.	走者ごとに「製造会社」部分の表記が異なってもよいか（1区：A 社製、2 走区：B 社製・・・）	<p>ユニフォームのデザインが統一されてるならばよい。</p>
8.	走者ごとにウェアの形状が異なっても問題ないか（1 区：ランパンランシャツ、2 区：セパレート、3 区：ブルマー、4 区：タイツ・・・）	<p>ユニフォームのデザインが統一されてるならば問題ない。</p>
9.	<p>各走者の「所属団体」部分は統一し、そのうえで、「スポンサー」部分は走者毎に違ってよいか。</p> <p>（「所属団体」部分は「〇〇」で統一し、「スポンサー」部分は1 走区：XX、2 区：YY 等）</p>	<p>よい。ただし「スポンサー」部分の表記については、同一企業グループ内の企業名やサービス名、商品名等に限る。</p>

以上